

第19回全国障害者スポーツ大会 いきいき茨城ゆめ大会

全国障害者スポーツ大会は、国内最大の障害者スポーツの祭典で、茨城県では初めての開催となります。障害のある選手が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、多くの方々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的としています。

大会概要

開催期間

令和元年10月12日(土)～10月14日(月・祝)

実施競技

○正式競技 13 (個人競技6 団体競技7)

○オープン競技 6

参加者数

都道府県・指定都市選手団

約5,600人 (選手約3,600人 役員約2,000人)

主催

文部科学省、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

茨城県、水戸市、日立市、結城市、常陸太田市、

取手市、つくば市、ひたちなか市



大会の見どころ

障スポ大会では、国体やオリンピックには無い競技が数多く実施されます。選手の迫力あるプレーや繊細で華麗な技術、障害に応じたプレースタイルが見どころです。障スポ大会ならではの独自のルールや工夫を知って、楽しく選手たちを応援しましょう。

プレー中はお静かに!
サウンドテーブルテニス
選手はアイマスクを着用し、
専用の球・ラケット・競技場
で、音だけを頼りにプレーし
ます



迫力満点!車いすバスケットボール

車いすどうしが激しくぶつかる音やタイヤの
軋む音が会場に広がります

大会を支えるボランティア



この大会は、多くの方々の力を結集して開催されます。ボランティアの方だけでも、延べ1万5千人以上の方にご協力をいただきます。例えば、聴覚障害のある方の大会観戦のために、手話やモニタなどに文字を表示することで情報を伝えるボランティアや、各選手団に帯同して身の回りのサポートを行うボランティアなど、実にさまざまな役割を担う方々によって大会が支えられています。

